

プラチナカードおすすめランキング選定・評価基準について

当サイトでは、読者の皆様が「高い年会費を払って損をしたくない」「自分に最適なコスパ最強の1枚を選びたい」という目的を達成できるよう、客観的な数値データと専門家（FP）の視点に基づきランキングを作成しています。

本ランキングにおける選定基準および評価項目は以下の通りです。

1. ランキング対象カードの選定基準

本ランキングでは、信頼性と実用性を重視し、以下の3つの条件をすべて満たすプラチナカードを選定対象としています。

選定条件	詳細内容
① 発行体の信頼性	三菱UFJニコス、三井住友カード、JCB、アメリカン・エクスプレスなど、国内で確かな実績を持つ発行体であること。
② 特典内容の透明性	コンシェルジュ、空港ラウンジ、グルメ特典などの付帯サービス内容が公式サイトで明確に開示されていること。
③ 申込の利便性	インビテーション（招待）制だけでなく、原則として新規申し込みが可能なカードを中心に選定していること。

2. 評価項目と採点基準（5点満点）

各カードを以下の5項目で審査しています。本記事のテーマである**「実質年会費の低さ（年会費の元が取れるか）」を最重要項目**として位置づけています。

評価項目	評価のポイント	重要度
① 実質年会費の低さ	特典利用（食事・宿泊等）でどれだけ年会費を相殺できるか	最重要

② 年会費の安さ	維持費そのものが安く、所有のハードルが低いか	重要
③ 付帯特典の豪華さ	コンシェルジュの有無、ラウンジの利用制限、グルメ特典の質	重要
④ ポイント・マイル還元率	普段の買い物や特約店での還元率、マイルへの交換効率	標準
⑤ 保険・サポート	旅行傷害保険の金額、スマホ保険、ショッピング補償の充実度	標準

各項目の採点基準詳細

① 実質年会費の低さ（5点満点）

「年会費の元がどれだけ早く取れるか」を評価します。

点数	評価基準	具体例
5.0	非常に優れている	1～2回の特典利用、または継続特典で年会費が実質0円以下になる。
4.0	優れている	レストラン1名無料特典などを1回使うだけで年会費の半分以上を回収できる。
3.0	標準的	特典の価値は高いが、年会費も高額なため回収に複数回の利用が必要。

② 年会費の安さ（5点満点）

カードを維持するための直接的なコストを評価します。

点数	評価基準	価格帯の目安
5.0	非常に安い	年会費20,000円以下（プラチナ界の最安クラス）
4.0	安い	年会費20,001円～35,000円（標準的なコスト価格帯）
3.0	標準的	年会費35,001円以上（高額だがサービス重視の価格帯）

③ 付帯特典の豪華さ（5点満点）

コンシェルジュや空港ラウンジの充実度を評価します。

点数	評価基準	主な付帯サービス内容
5.0	非常に豪華	24時間コンシェルジュ+プライオリティ・パス（無制限）+レストラン1名無料がすべて揃う。
4.0	豪華	上記のうち2つ以上を満たす、または特定の強力な優待（ホテル上級会員等）がある。

3.0	標準的	標準的なプラチナ特典（国内ラウンジ等）は備えているが、一部制限がある。
-----	-----	-------------------------------------

3. 総合スコアの算出方法

本ランキングは「最もコスパ良く贅沢ができる」ことを目的としているため、以下の式で総合評価を算出しています。

算出式：

$$(\text{実質年会費の低さ} \times 2 + \text{年会費の安さ} + \text{付帯特典} + \text{還元率} + \text{保険}) \div 6 = \text{総合評価}$$

4. 調査概要

本ランキングの作成にあたり、以下の情報を参照・調査しています。

調査項目	内容
調査対象	国内で発行されている主要プラチナカード20種以上
参照データ	各カード会社公式サイト、会員規約、プライオリティ・パス公式サイト、招待日和（提携先）データ
専門家調査	ファイナンシャルプランナー（小守 美行 氏）による監修・付帯サービスの換算価値算出
口コミ調査	SNS（X, Instagram）、価格.com等のレビューサイトにおけるコンシェルジュ対応満足度
調査時期	2026年3月31日（最新の年会費・特典改定に対応）

5. 免責事項

- 本ランキングは当編集部および監修者独自の基準によるものであり、審査の通過を保証するものではありません。
- 特典の換算価値は、一般的な利用シーンを想定した目安です。
- 価格やスペックは記事制作時点の情報です。最新情報は必ず各公式サイトにてご確認ください。